

琴芝小 実践②	畜産ふれあい体験学習		
実施日時	9月5日(木) 3・4校時	実施場所	運動場
対象	1年生	指導者	栄養教諭 ・ 担任 ・ (山口県畜産振興協会)
視点	・食事の重要性 ・感謝の心 ・心身の健康 ・社会性 ・食文化 ・食品を選択する能力		
ねらい	子牛とのふれあい体験や酪農家のお話を通して、食べ物は動植物のいのちをいただいていることや多くの人々のおかげで成り立っていることを知り感謝する心で食事をする。		
内容	<p>○ 事前指導(9月4日 2校時)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前日の給食をもとに、それぞれの材料のすべては命のあるものであることに気づく。</li> <li>・「いのちをいただく」の紙芝居をみて、感想を発表する。</li> <li>・「いただきます」「ごちそうさま」の意味を知り、これからの食事に感謝の気持ちをこめてあいさつすることや、嫌いなものも大切にいただく気持ちを持つ。</li> </ul> <p>○ 当日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子牛2頭のふれあい体験(聴診器で心音をきく。ブラッシング)</li> <li>・酪農家のお話を聴く。</li> <li>・搾乳体験をする。</li> </ul> <p>○ 体験活動の感想を書く。</p>		
児童 の感想	<p>○ くろいうしさんは、おにくにされるってかなしいです。でもありがとうございます。</p> <p>○ おもったよりかわいかったし、おおきかったし、ちちしぼりがたのしかった。ぶらしてかいたらよろこんでいたよ。きょうはありがとうございます。かんしゃのきもちです。</p> <p>○ うしをそだてているひとのことがわかりました。</p> <p>○ ぼくは、うしさんのしんぞうのおとがおおきくてびっくりしました。</p>		
成果と 課題	<p>○ 子牛を実際に見たことのある児童は少なく、直接ふれあうことで、動物に対する慈しみの気持ちが育まれた。</p> <p>○ 事前指導で子牛たちもやがては肉となり、私たちがいただくことになることについて触れたが、さらに、酪農家の方が、食べ物は動植物のいのちをいただいていること、そのために大切にいただくことについてお話していただいたおかげで、その日の給食の牛肉を児童は黙々と食べていた。</p> <p>○ 今回の事業をきっかけとして、今後も折にふれ、いのちの大切さや感謝の心について触れていきたい。</p>		

